



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月10日

上場会社名 尾家産業株式会社 上場取引所 東
コード番号 7481 URL <http://www.oie.co.jp>
代表者（役職名）代表取締役社長執行役員（氏名）尾家 健太郎
問合せ先責任者（役職名）執行役員管理本部副本部長（氏名）畑中 則行 TEL 06-6375-0151（代表）
半期報告書提出予定日 2025年11月11日 配当支払開始予定日 2025年12月9日
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	64,426	10.5	1,983	2.0	2,009	2.4	1,411	△6.9
2025年3月期中間期	58,323	—	1,944	—	1,962	—	1,515	—

（注）包括利益 2026年3月期中間期 1,463百万円（9.2%） 2025年3月期中間期 1,339百万円（—%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	170.17	—
2025年3月期中間期	183.01	—

（注）当社は、2024年3月期連結会計年度末より連結財務諸表を作成しているため、2025年3月期中間期の対前年中間期増減率については記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	40,080	15,493	38.7
2025年3月期	37,597	14,476	38.5

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 15,493百万円 2025年3月期 14,476百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	45.00	—	57.00	102.00
2026年3月期	—	47.00	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	47.00	94.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	124,700	4.6	3,720	4.3	3,800	5.2	2,600	△7.6

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期中間期	9,255,000株	2025年3月期	9,255,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	954,306株	2025年3月期	966,780株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2026年3月期中間期	8,291,762株	2025年3月期中間期	8,279,420株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 経営成績等の概況

（1）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における我が国の経済は、景気の緩やかな回復が続くことが期待されるものの、高いインフレ率による個人消費の伸び悩みが懸念材料となっています。

当社グループの主要取引先であります外食産業におきましても、高水準のインフレなどもあり景況感の悪化が懸念されますが、インバウンド需要と客単価の上昇によって売上は堅調に推移しています。その一方で、労働力不足と人件費上昇は引き続き業界全体の課題となっています。

このような状況下、当社グループは第6次中期経営計画の骨子である営業重点施策に営業資源を集中させるとともに、外食市場に対して確実に商品を確保し、適正な価格で提供させていただくことに注力いたしました。

2025年8月から10月にかけて、全国15会場で秋季提案会の開催を予定しておりますが、9月末までに11会場での開催が終了いたしました。

『磨き』をテーマに、仕入先様とともに念入りに磨き上げたメニューや商品の提供などによりユーザー様の課題解決に向けた提案を行い、11会場合計で当初計画を上回る約6,400名のユーザー様に来場いただきました。また、新規来場も約500社と過去最高となりました。

プライベートブランド商品（以下、P B 商品）につきましては、当該期間において、新商品20品、リニューアル品9品を発売し、秋季提案会場ではこのうち新商品16品を紹介いたしました。

また、相次ぐ値上げの中、値頃感のあるP B 商品への引き合いは強く、直近の9月単月では売上は前年同月比116%と伸長し、P B 商品の当社グループ内売上構成比も上昇いたしました。

新発売となるP B 商品「ムースおせち 燦」は、咀嚼・嚥下困難の方に提供されている刻み食やミキサー食を一部代替できる食べやすいおせちで、すでに販売計画を大きく上回る受注をいただいております。

ヘルスケアフード業態につきましては、専任チームによる全国フォロー体制が稼働し、上期は関西・東海地区のヘルスケア施設向けの個別プレゼンテーションをきめ細かく実施したことも奏功し、売上は前年同期比110%の伸長となりました。

ホテルを中心とする宿泊施設につきましては、朝食のサラダやデザートなどコーナー毎に商品を重点化した提案がユーザー様に受け入れられ、売上は前年同期比117%と伸長いたしました。

E C（電子商取引）ビジネスにつきましては、引き続き楽天市場での売上拡大を図り、当中間連結会計期間につきましては、アクセス数、売上共に大きく伸長いたしました。

輸出ビジネスにつきましては、既存企業との取組強化に加え、第10回“日本の食品”輸出E X P Oへの出展をはじめとした新規企業との商談も進めるなど販路拡大に注力した結果、当中間連結会計期間の売上は前年同期比160%と伸長いたしました。

物流につきましては、物流会社との連携を強化し、大手チェーン店の物流改善を進めました。また、受注業務につきましても、引き続き電子化を進め、一部の事業所では電子化率が90%を超えるなど業務改善の成果が着実に出ています。

以上の結果、当中間連結会計期間の経営成績は、売上高644億26百万円（前年同期比10.5%増）、営業利益19億83百万円（前年同期比2.0%増）、経常利益20億9百万円（前年同期比2.4%増）、親会社株主に帰属する中間純利益14億11百万円（前年同期比6.9%減）となりました。

（2）当中間期の財政状態の概況

（資産）

当中間連結会計期間末の総資産は、400億80百万円となり、前連結会計年度末と比較して24億82百万円の増加となりました。

主な要因は、現金及び預金が10億10百万円、受取手形及び売掛金が11億41百万円、投資有価証券が6億8百万円増加したことによります。

（負債）

負債は245億86百万円となり、前連結会計年度末と比較して14億65百万円の増加となりました。

主な要因は、買掛金が15億24百万円増加した一方で、短期借入金が50百万円減少したことによります。

（純資産）

純資産は154億93百万円となり、前連結会計年度末と比較して10億17百万円の増加となりました。

主な要因は、利益剰余金が9億38百万円増加したことによります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の業績予想につきましては、2025年5月13日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年 3 月 31 日)	当中間連結会計期間 (2025年 9 月 30 日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,128	7,139
受取手形及び売掛金	14,944	16,086
商品	3,606	3,911
未収入金	1,755	1,353
その他	63	135
貸倒引当金	△6	△7
流動資産合計	26,492	28,618
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,842	10,857
減価償却累計額及び減損損失累計額	△6,565	△6,767
建物及び構築物（純額）	4,276	4,089
機械装置及び運搬具	463	462
減価償却累計額及び減損損失累計額	△377	△387
機械装置及び運搬具（純額）	86	75
工具、器具及び備品	564	559
減価償却累計額及び減損損失累計額	△429	△400
工具、器具及び備品（純額）	135	158
土地	2,280	2,324
有形固定資産合計	6,779	6,647
無形固定資産		
のれん	46	41
ソフトウェア	110	98
その他	27	27
無形固定資産合計	184	166
投資その他の資産		
投資有価証券	811	1,420
関係会社株式	95	95
差入保証金	2,133	2,086
繰延税金資産	944	914
その他	209	186
貸倒引当金	△53	△56
投資その他の資産合計	4,141	4,647
固定資産合計	11,105	11,462
資産合計	37,597	40,080

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	16,459	17,983
短期借入金	50	—
1年内返済予定の長期借入金	53	48
リース債務	42	47
未払金	239	216
未払費用	1,789	1,875
未払法人税等	667	691
賞与引当金	785	705
その他	139	100
流動負債合計	20,227	21,669
固定負債		
長期借入金	62	39
リース債務	88	107
役員退職慰労引当金	220	220
資産除去債務	774	777
退職給付に係る負債	1,605	1,626
その他	143	146
固定負債合計	2,894	2,917
負債合計	23,121	24,586
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,305	1,305
資本剰余金	1,240	1,247
利益剰余金	12,882	13,820
自己株式	△1,496	△1,477
株主資本合計	13,932	14,897
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	333	386
退職給付に係る調整累計額	210	210
その他の包括利益累計額合計	544	596
純資産合計	14,476	15,493
負債純資産合計	37,597	40,080

（2）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2024年 4 月 1 日 至 2024年 9 月30日）	当中間連結会計期間 （自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 9 月30日）
売上高	58,323	64,426
売上原価	47,351	52,395
売上総利益	10,972	12,031
販売費及び一般管理費	9,028	10,047
営業利益	1,944	1,983
営業外収益		
受取利息	2	5
受取配当金	7	8
受取賃貸料	8	5
貸倒引当金戻入額	2	—
雑収入	8	8
営業外収益合計	29	27
営業外費用		
支払利息	1	1
賃貸費用	0	0
和解金	9	—
雑損失	0	0
営業外費用合計	11	1
経常利益	1,962	2,009
特別利益		
投資有価証券売却益	249	—
特別利益合計	249	—
税金等調整前中間純利益	2,212	2,009
法人税、住民税及び事業税	670	592
法人税等調整額	26	6
法人税等合計	697	598
中間純利益	1,515	1,411
親会社株主に帰属する中間純利益	1,515	1,411

中間連結包括利益計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2024年 4 月 1 日 至 2024年 9 月30日）	当中間連結会計期間 （自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 9 月30日）
中間純利益	1,515	1,411
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△172	52
退職給付に係る調整額	△2	△0
その他の包括利益合計	△175	52
中間包括利益	1,339	1,463
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	1,339	1,463
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

（3）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。